人類光明化・日本国実相顕現の使命にたつ!!

躍進する生長の家社会事業団

秋号（NO.56）
令和８年11月１日

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN
創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人
生長の家社会事業団
〒186-0003
東京都国立市富士見台２丁目39-1
TEL：042-843-0075　発行人：久保 文剛
FAX: 042-843-0076　編集人：佐々木憲彦

尊師ご生誕一三三年

谷口雅春先生のお志実現の使命に邁進しよう!!

《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

常に「よく調えられたる心」を持て

不安、恐怖の感情をもちながらでは、何事を為しても其の仕事が充分完全に遂行できる訳のものではないのである。よく調えられたる落着いた心にのみ、よき智慧が湧き出て来て、如何なる盤根錯節をも断ち切ることができるのである。

私たちは先ず「よく調えられたる心」を持たなければならない。「よく調えられたる心」とは第一に明るくなければならない。如何なる時にも、直ぐ暗くなったり、神経質に興奮するようであってはならない。そのような落着いた心を得るためには、実在の実相が常に変りなく完全であると云う真理に深く徹しなければならない。

そして神の子が既に完全であると云う実相は、誰が如何にしようとも、颱風も、地震も、火山爆発も、如何なる天災も、如何なる爆弾も、病気も、是を破壊し得ない自己特有の本性だと云う事を自覚しなければならない。其の自覚を深く潜在意識にまで徹せしめる為に神想観を励行せよ。

（新装新版『真理』第10巻 251～252頁）

創立八十周年の聖業を顧みて、未来への誓いを新たに進まん

理事長　久保　文剛

爽秋の気配が深く立ち込める今日この頃、皆様におかれましては、ますます御健勝にて神性開発の聖業に邁進されていることと、心より慶賀申し上げます。平素は当事業団の公益目的事業に対し、多大なる御理解と温かい御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

顧みますれば、わが公益財団法人生長の家社会事業団は、昭和二十一年一月八日に設立を許可されて以来、ここに創立八十周年という記念すべき極めて重要な節目を迎えるに至りました。終戦直後の焦土と混乱の中、日本救国・世界救済の大悲願のもとに、尊師谷口雅春先生が深いお志をもって当事業団を設立されたのが、その劈頭であります。

星霜を重ねて八十年、幾多の試練を乗り越え、今日までこの崇高な使命を継承し得ましたことは、ひとえに住吉大神と尊師谷口雅春先生の御法恩の賜物であり、全国の先達並びに関係各位の赤誠の結晶であると、深く感謝と敬意を捧げる次第であります。

尊師谷口雅春先生は、当事業団の設立に際し、「人類の至宝」ともいうべき『生命の實相』や『甘露の法雨』をはじめとする数々の尊い御著作の著作権を基本財産として託されました。これは、真理の御教えを永続的に護持するとともに、その精神を具現化した国家社会救済の実際運動を展開せよいう、厳粛なる聖使命の託宣にほかなりません。

私たちは、この人類救済の源泉たる著作権を護持し、尊師の説かれた人類救済・国家救済の真理を正しく後世へと伝えていく重き責任を、いま一度深く胸に刻まねばなりません。

当事業団の基幹たる精神文化振興事業と健全育成事業におきましては、谷口雅春先生報恩全国練成会と児童養護施設生長の家神の国寮を中心に、時代や社会環境が激変するなかにあっても、一人ひとりに宿る「神の子」の魂を信じ、その円満なる神性開発と生長を願いつつ、慈愛に満ちた営みを継続してまいりました。混迷を極める現代社会において、『生命の實相』の大真理に基づく精神文化の振興と青少年の健全育成は、ますますその重要性を増しております。

この八十周年という記念すべき歴史的転換点に立ち、私たちは過去の歩みを厳かに顕彰しつつも、決して現状に甘んじることなく、次なる一歩へ向けて確かな歩みを進める決意を新たにしております。創立者・谷口雅春先生が示された精神の原点に還り、真理の光を社会の隅々にまで届けるべく、役職員一同、身を引き締めて尊師のお志実現に邁進してまいる所存でございます。

どうぞ皆様におかれましては、今後とも変わらぬ御懇情を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますの御健勝と住吉大神様の限りなき祝福が注がれますことを念願いたしまして、創立八十周年の巻頭の辞といたします。

一日の最後の時間を赦しと感謝とで満たすこと、それは健康に重大な関係があるのであるが、健康に関係がなくとも、それはそのままで有りがたいことではないか（新編『生命の實相』第 61 巻 幸福篇 164-165 頁）

第15回谷口雅春先生報恩全国練成会のご報告――新生のよろこび続々と！

去る9月11日から13日まで、「第15回谷口雅春先生報恩全国練成会」が開催され、北海道や愛媛県をはじめ、遠方からのご参加も含め、全国14都道府県より86名の方々にご参加いただきました。

9月の「敬老の月」にちなみ、二日目の昼、80歳以上の参加者7名の方々に、谷口雅春先生のお言葉「若々しくある秘訣」（『生活の智慧365章』より）を記した感謝の色紙と記念品が贈られました。長年にわたり御教えを学び、実践されてきた皆様への感謝と敬愛の念が込められた贈呈に、会場は温かな拍手に包まれ、和やかで心温まるひとときとなりました。

参加者喜びの感想文より

日々、〝行〟を実践し感謝の生活を送ります

千葉県　田中（たなか）　靖久（やすひさ）（53歳）

昨年9月以来、一年振りの参加となりました。前回第14回の全国練成会に妻が初めて参加させていただき、それ以来、毎日欠かさず行をおこなっている妻の姿に感銘を受ける一方で、ここ最近の自分自身を振り返ると、行をおこなう時間が短くなったり疎（おろそ）かになっているところがありました。そのため行をしっかり行いたいと思い、今回改めて参加させていただきました。

講師の方々の講話、参加されている皆さんの座談会でのお話を聞く中で、気づかされることがたくさんありました。その座談会の中で、両手指の関節が毎日の感謝行で治られた体験がありました。そういえば私自身も、二カ月前から急に左手の人差し指と中指の第二関節に痛みが生じるようになり、曲げたり、物を掴んだり、何をするにも痛くて気になっていました。毎日指を使う動作がいかに多いことであるか、痛みによって気づかされました。今まで何十年と指であったり、身体の各器官が働いてくれていたのかと、これまでの自分の身体に対して十分に感謝出来ていなかったことにも気づきました。

日々の行とともに、自分自身の身体への感謝、両親への感謝も忘れず、一日一日大切に生活していきたいと思います。

〝人間神の子〟を知るには神の子の生活をすること

三重県　佐藤（さとう）　真由美（まゆみ）（65歳）

10年ほど前に癌の手術をしました。よくなったのですが、練成に行けるチャンスがあれば行ける時になるべく参加したいと思い参加しました。三重に帰ったら、学んだ真理をお伝えしたいと考えたからです。

〝人間神の子〟を知りたければどうしたらいいのか。それは「神の子を生活する事」だと学ばせて頂きました。「徳をつらぬく事」「『生命の實相』を読むだけではなく生活する事」だとも学びました。本当に信仰とは、神を見い出すための旅路であると思います。

練成中、仲違いになっていた姉からメールがありました。それは、母とのグループホームでの食事会へのお誘いのメールでした。絶対に行きたくないと思っていましたが、祈り合いの神想観で皆様に祈っていただきまして、父の十三回忌でもあり、母への最後の親孝行だと思い、母が生きている間に姉と三人で会ってもいいやという気持ちになってきました。きっと霊界からの父のお導きだと思います。三重に帰ったら、少しでも神の愛を実践します。

良い言葉を使って前進します

神奈川県　福泉（ふくいずみ）　堯靖（たかやす）（24歳）

二回目の全国練成会にまた参加することができて本当に良かったです。前回よりお話の内容が頭に入ってきました。「心のレンズ」や「コトバの力」「何が起きても感謝」という言葉が特に印象に残りました。

私は中学生の頃に、学校で大変いやな思いをしたことがありました。思い出すのもいやなくらいでしたが、「苦労は教科書」「苦労させて下さる方は魂の学校の先生」という言葉を聞いて、あの出来事も必要だったんだと分かりました。これからは、どんな大変なことや苦労することがあっても、人生勉強だと思うようにします。そしてなるべくマイナスの言葉は使わず、明るい良い言葉を使っていきたいと思います。今回も良い三日間でした。

私の心は神の心、私の身体は神の身体、私のいのちは神のいのち

神奈川県　笠原（かさはら）　利恵（としえ）（78歳）

〝心のレンズの曇りを取る強力なマジックリン＝感謝の心〟のお話を聞いて、〝褒め合いデー〟〝褒め合い日記〟をつけることを実行しようと心に決めました。

二日目、井手本先生が教えて下さった「私の心は神の心、私の身体は神の身体、私のいのちは神のいのち」を帰りの電車の中で唱え続けて帰りましたら心が高ぶってきました。何かが変わった感じの三日間でした。

これからの私に期待したい

京都府　H．M．（74歳・女性）

先生方の素晴らしいお話を盛り沢山に聞かせて頂いて、一つ一つが心に染みて、心が溢れそうになっています。今の心の状態を家に持ち帰って、この真理を一つずつあせらずに実行していきたいと思います。練成会の参加を続けるうちに、知らず識らずのうちに積み重なるものがあるものだなあと感じます。これからの私に期待したいです。

《今後の報恩練成会のご案内》

第3回谷口雅春先生報恩新生九州練成会
（佐賀県佐賀市・ホテル龍登園）
11月1日（日）～3日（火・祝日）

新春第16回谷口雅春先生報恩全国練成会
（東京都国立市・全国練成道場）
令和9年1月29日（金）～31日（日）


敬老の月の９月にちなみ、80歳以上の参加者７名の方々を祝福させていただきました。



よろこびあふれる全体記念撮影（２日目）


再会を約して「誓いの握手」


〝笑いの大会優勝〟
荻原寛迪（おぎわらひろゆき）さん


報恩練成会は感謝の「先祖供養祭」から始まる

必ず幸福になる先祖供養に励みましょう!!

本欄では、先祖供養の意義や功徳、生長の家独特の「霊牌供養」について紹介していますが、本号より、元生長の家本部講師、旭川・十勝教区等教化部長高倉俊治先生による〝先祖供養の大切さ〟を全６回の予定で連載させていただきます。

タテ軸感覚を失った現代日本

高倉　俊治（第１回）

■魂なき日本の繁栄

六十数年前の東京オリンピックの頃です。米国人ノーマン・カズンズの「魂をなくした日本の繁栄」との記事が話題となりました。

「…だが、このようなめざましい発展にもかかわらず、今日の日本人は心理的に哲学的に根なし草のように見える。過去と全く結びつかず未来に対しても無関心で、まるで現在に酔っぱらっているみたいだ。…日本は魂を失っている。その意味で、鉄骨は天空にそびえ、ネオンは夜空に輝こうとも、何かしら痛ましいものがある」と当時日本の問題点を鋭く指摘したのです。ヨコ軸世界のみに生きる根無し草のあだ花という点では現代にも共通していると想います。

■幸福の根に繋がる

日本人は、昔から温かい人と人との絆の中で幸福に生きてきた民族です。その絆は、ヨコ軸社会だけでなく、タテ軸とも繋がっていました。明治時代、米国より来日し日本に帰化したラフカディオ・ハーン（小泉八雲）は、英語の小説や評論を通して、日本および日本人を世界に紹介した人として有名ですが、彼は、日本を「死者の支配する国」と捉え、

「日本人の死者に対する愛情は、どこまでも感謝と尊敬の愛情である。おそらくそれは日本人の感情の中でもいちばん深く、強いものであるらしく、国民生活を指導し、国民性を形成しているのも、この感情であるらしい…日本人は、けっして〝ただの記憶になった祖先〟などというものを、考えてはいない。かれらの死者は現に生きている」と、日本人が祖先をあたかも生きているかのように遇し、祖先に見守られて暮らしていることを羨望の思いをもって語っています。確かに日本人は、昔から「ご先祖が見守っていられる」との思いは強かったようです。例えば「ご先祖に申し訳ない」との思いが日本人の倫理観を作った一つの要因でもあります。しかし、戦後社会は、タテ軸との繋がりを断ち切られ、個々バラバラの「根無し草」社会となってしまいました。根っこと繋がらない切り花状態では様々な問題が生じます。

谷口雅春先生は、「人間が幸福になるためには、幸福の源泉とつながらなければならないのである。日本語で幸福のことを〝幸（さいわい）〟というのは、〝先（さき）き延（は）え〟が転じたのである。即ち、「幸福の樹」が伸びて来るのは、幸福の樹の根幹があってそれが先へ延長して来たのだという意味である。幸福の樹の〝根〟になるのは、〝神〟であり、〝祖先〟である。幸福の樹の〝幹〟になるのが父母である。父母に感謝する気持になったとき、幸福の幹につながり、神と先祖に感謝する気持になったとき、幸福の根につながるのである。人間は一人で生きているのではないのである。」（『愛はかくして完成す』）と説かれています。

次回から先祖供養について勉強していきたいと想います。

環境は人間に支配されると思う者には、環境は人間に支配されるが、人間は環境に支配されると思う者には、環境は頑（がん）としてその人の上に暴君的力を揮（ふる）うであろう。そのこと自身が環境は自分の思う通りのものであることを表している。（新編『生命の實相』第61巻 幸福篇 147頁）

生長の家のみ教えを正しく護り伝えるために‼

一口 33 万円の特別献資にご協力ください‼

＜当事業団が行っている五つの創立記念事業＞

① 聖典『生命の實相』、聖経『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
② 谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
③「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
④「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
⑤「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から 81 年前の昭和 20 年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。

そして、これら施策の遂行をなしとげるため**谷口雅春先生は、聖典『生命の實相』、聖経『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。**

このことは聖典『生命の實相』、聖経『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様にご寄付の協力を仰ぐ次第です。

（同封のご寄付のチラシをご参照ください）

【分割も可】分割による献資も可能です。回数・期間に決まりはありませんので、ご自身の都合に合わせご奉納いただければと存じます。

【税務上の特典】生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置（税額控除等）の対象となります。

《真の龍宮住吉本宮の建立へ》

尊師谷口雅春先生の鎮護国家の願いを受けつぐ私たち生長の家社会事業団は、教団が脇神に押し込めた住吉大神を再び顕斎すべく、創立 80 年記念事業として住吉大神をお祀りする真の龍宮住吉本宮の建立をめざしてまいります。詳細は後日発表しますが、その実現に向けご支援を賜りますよう心より御願い申し上げます。

「谷口雅春先生記念図書資料館」行事案内

◇ **神示祭** 11 時～ 屋上「龍宮住吉本宮社殿」
11 月 4 日、10 日、25 日、27 日、
12 月 5 日、28 日

◇ **『真理』勉強会**
11 月 7 日(土) 13 時半～ 15 時半
指導：熊本司講師（元本部講師）
ﾃｷｽﾄ：新装新版『真理』第 10 巻

◇ **『生命の實相』輪読会** 13 時半～ 15 時半
11 月 22 日（日）、12 月 22 日（火）
指導：久保文剛講師（理事長）
新編第 18 巻（頭注版第 10 巻）霊界篇

◇ **古事記神話講座（3）**
11 月 28 日（土） 13 時半～ 15 時半 新教連

◇ **定期一般開館日** 原則第1・第3 木曜日 11 時～15 時
11 月 5 日・26 日、12 月 3 日

【所在地】東京都国立市富士見台 3-31-14
【最寄駅】JR 南武線 矢川駅（徒歩 3 分）

読者の皆様から寄せられた〝よろこびの声〟

○「神癒・聖経供養」祈願の有難さ ── 孫が素晴らしくなりました

小学校 2 年生の孫のことで祈願をして頂き、ありがとうございます。

それまで息子夫婦は、「参観日に学校へ行っても、教室をうろついたり、言葉をひとり発したりして、恥ずかしくてどうしようもなかった」と嘆いておりましたが、1 ケ月の祈願満了後それがピタッと止み、次の参観日には先生から「この頃落ち着いて来て、勉強もよく出来ます」と褒めて頂き、テストの点数も 40 点 50 点から 80 点台に上がり、大変喜んでおります。祈願の素晴らしさ、諸先生方の深いお心に心から感謝御礼申し上げます。（70 代・女性）

○ますます熱心に先祖供養に励みます

この機関紙は、毎号いろいろな人の体験談や講師の方々のお言葉が載っていて、非常に有益で励みになります。本当にありがたいことです。毎号楽しみにしています‼ 前号の第 55 号では特に、井手本先生の「先祖供養を熱心に行っていると、高級霊の導きによって運命が改善され、その結果としてお蔭（喜びの体験）が得られることは事実です」とのご文章に勇気づけられました。これからもますます熱心にご先祖様を供養していこう‼ と決心しました。（埼玉県・木﨑尚樹）

11 月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1（日）	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10 時半～	道場
1（日） 3（火）	第 3 回谷口雅春先生報恩 新生九州練成会	開会12 時45分 閉会15 時30分	福岡
4（水）	生長の家の食事の神示祭	11 時～	社殿
5（木）	図書資料館一般開館日	11～15 時	図書館
7（土）	『真理』勉強会（熊本司講師）	13 時半～	図書館
10（火）	無病常楽の神示祭	11 時～	社殿
22（日）	谷口雅春先生ご生誕報恩感謝祭 『生命の實相』輪読会	11 時～ 13 時半～	道場 図書館
25（水）	本来生、不滅の神示祭	11 時～	社殿
26（木）	図書資料館一般開館日	11～15 時	図書館
27（金）	終戦後の神示祭	11 時～	社殿
28（土）	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11 時～	道場

12 月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1（火）	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10 時半～	道場
3（木）	図書資料館一般開館日	11～15 時	図書館
5（土）	信仰生活の神示祭	11 時～	社殿
20（日）	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11 時～	道場
22（火）	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の實相』輪読会	11 時～ 13 時半～	社殿 図書館
28（月）	日本の實相顕現の神示祭 君民同治の神示祭	11 時～	社殿

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の龍宮住吉本宮社殿です。どなたでも自由に参加できます。

生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しい御教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

住吉大神の祝福燦々と降り注ぎ給う
「神癒・聖経供養」祈願（奉納金は随意）
問題解決、神癒の体験続々と！

神様の祝福に包まれた幸福人生を招く
「聖使命奉讃会」（月額一口 1,000 円）
にご入会ください。

生長の家社会事業団公式 HP のご案内

スマートフォンをかざして QR コードを読み取っていただきますと、生長の家社会事業団の公式ホームページが表示されます。

本機関紙のバックナンバー、主催行事・後援行事のご案内、情報公開等を掲載しています。どうぞご覧ください。

自分の収入の二分乃至一割で、自分の救われた教えを弘めるために真理の小冊子を買って無代進呈することは神に対する恩返しとなる。与えただけが与え返されるのである。（新編『生命の實相』第 61 巻 幸福篇 128 頁）